



授業で勝負・先手必勝の挨拶・心を耕す読書

金ケ崎町立金ケ崎中学校
令和5年度校報
第16号
令和5年11月13日発行
文責：岩淵 陽

後期生徒総会

11月8日(水)、後期生徒総会が開催されました。全校生徒が一堂に会して、前期活動の総括と、後期活動の提案がされ、真剣な議論が交わされました。

前期生徒会活動総括の後、後期の新生徒会にバトンが渡されました。新生徒会役員は後期生徒会活動計画を提案し、全校で審議、可決されました。

【後期生徒会スローガン】

かい 華
開 華

～全員が心を結び、花開く金中～

【最重点項目】

- あいさつしあう金中生
 - 先手必勝の挨拶
 - 4B(礼儀・歩行・記名・服装)
- 学び高め合う金中生
 - 学習クラスマッチ
 - 授業態度向上
 - ホームルーム合唱
 - 組団交流合唱
- 協力し合う金中生
 - ボランティア
 - 黙々清掃
 - マナーの優勝旗
 - 日常生活・行事

後期生徒会は、新しいスローガンのもと、本格的に活動を展開していくことになります。先輩の後ろ姿から学んだことを生かし、金中生徒会らしい活動を進めてくれることを期待しています。

新応援団リーダー

生徒総会の後、過日承認された新応援団リーダーが、全校生徒に向けて挨拶をしました。勇ましく、大変晴れがましい様子でした。

○ 新応援団リーダー

応援団長	高橋 信人 さん
応援団リーダー	高橋 大樹 さん
	高橋 優芽 さん
	千葉 優也 さん
	石川 道真 さん
	小原 璃空 さん
	宮田 優心 さん
	岩淵 咲萩 さん
	柏 琉生 さん
	五嶋 衛橙 さん
	名須川 琉心 さん
	佐藤 隆晴 さん
	嶋 大志 さん

R6年入試説明会

11月7日(火)、3年生と保護者を対象にした、令和6年度高校入試説明会を行いました。令和6年度入学生の入試について、日程や内容、推薦入試にかかわっての手続きや校内推薦基準、私立高校や高等専門学校の入試等についての説明がありました。説明の中で、「早いところでは、今月末から出願手続きがはじまります。進路事務日程は、各々異なりますので、各自資料等熟読し、遺漏のないように進めてほしい」という話がありました。また、学習について、「残された時間は限られているので、取組のペースを一層アップして取り組みたい。受験勉強はやはり問題を多く解くことが効果的な学習方法。」ということも話されました。

Let's go to school day

10月31日(火)、Let's go to school dayとして、一日学校公開日を実施しました。平日開催にも関わらず、たくさんの方々に参観いただきました。ありがとうございました。

午後には、奥州警察署の方を講師に、「情報モラル講演会を行いました。スマホ、SNSの利便性の裏にある怖さを再確認し、スマホ等のモバイル端末の使い方を再確認する機会となりました。

第2回PTA理事会

10月26日(木)、今年度2回目のPTA理事会を行いました。令和5年度前期の活動報告と、令和6年度の役員選出について確認されました。また、来年度金ケ崎中学校が創立60周年を迎えるにあたり、記念事業を行うこととなります。その事業の概略(案)についても協議されました。

○ 令和6年度役員選出に関わって

地区委員の選出・報告…R6・1/18(木)
R6年度地区委員会議…R6・2/2(金)
第3回PTA理事会……R6・3/1(金)

○ 60周年記念事業の構想

- ① 記念式典
- ② 記念公演(講演)
- ③ 記念リーフレット作成

栄 光

令和5年度金ケ崎町交通安全ポスターコンクール(10/17)

最優秀賞 小野寺 優香

優秀賞 畠山 未羽

佳作 有住 楓 中西 琴音

第28回岩手カッパ東北中学生学年別ソフトボール大会(11/5)

2年男子の部2位トーナメント

第3位 小原 翔 小原 千輝

令和5年度

胆江地区読書感想文コンクール(9/12)

優良賞 佐々木 康寛

進路講演会のご案内

延期していた本校の卒業生の株式会社ヘラルボニー代表取締役副社長 松田文登氏による講演会を、下記の通り行います。つきましては、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 日時 令和5年11月28日(火)
13:15~14:15
- 2 場所 金ケ崎中学校 体育館
- 3 対象 全校生徒
及び 希望する保護者
- 4 講師 株式会社ヘラルボニー
代表取締役副社長 松田文登氏
- 5 内容 講話:『15歳の進路選択』
- 6 その他
 - ・保護者の皆様は、ソフトボール隣の駐車場を使用し、体育館正面入り口からお入り下さい。
 - ・参加の可否の確認がお済でない方は、「さくら連絡網」アンケートにてご回答ください。

～講師紹介～



株式会社ヘラルボニー代表取締役副社長 松田文登さん
第一小学校、金ケ崎中学校卒業。

ゼネコン会社で被災地の再建に従事。その後、双子の弟、松田崇弥氏と共に自閉症の4歳上の兄が小学校時代に記していた謎の言葉「ヘラルボニー」を社名にヘラルボニーを設立。「異彩を、放て」をミッションに掲げ、福祉実験ユニットを通じて、福祉領域のアップデートに挑む。ヘラルボニーの営業を統括。岩手在住。

世界を変える30歳未満の30人「Forbes 30 UNDER 30 JAPAN」受賞。